



# 令和4年度優秀賞受賞者による 教養卒論発表会

自ら課題を設定し、協働的に探究する。

東京工業大学の学士課程教養教育の集大成である「教養卒論」。優秀賞に選ばれた学生有志による発表会をハイブリッドで開催します。発表会終了後、発表者との交流や意見交換もできます。ぜひ、足をお運びください。

\*「教養卒論」は、学士課程3年次後期の必修科目。受講生は、自ら課題を設定し、授業のなかで探求を深め、その成果をひとつの論文としてまとめ上げます。執筆の課程で受講生は、教員から論文の書き方指導を受けるだけでなく、「ピアレビュー」を複数回実施することで、互いの執筆をサポートしながら論文を書いていきます。



2023年6月19日(月)

17:30~20:00

対象：東工大在学生、教職員、  
ならびにその関係者

場所：東京工業大学大岡山キャンパス  
西9号館E棟デジタル多目的ホール

参加費：無料（要事前予約）

事前予約・オンライン視聴  
の希望はこちらから→



主催：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院  
問い合わせ先：core.jimu@ila.titech.ac.jp

# プログラム

17: 30～17: 35	山崎太郎リベラルアーツ研究教育院長挨拶
17: 35～17: 45	授業趣旨の説明
17: 45～18: 40	優秀賞受賞学生による発表 第1部
18: 40～18: 50	休憩
18: 50～19: 40	優秀賞受賞学生による発表 第2部
19: 40～19: 55	益一哉学長、井村順一教育担当理事・副学長からのご講評
19: 55～20: 00	クロージング
20: 00～20: 30	情報・意見交換会 (希望者のみ、飲み物等各自持参)

## 発表者一覧

**第1部 (17:45～18:40)** ※発表はひとり5分、全員発表の後に質疑応答10分

- (1) 森 春香 (物質理工学院 応用化学系)  
「自分自身を1番大切にすること –不幸な恋愛を選ぶことをやめるまで–」
- (2) 森岡 優佳 (生命理工学院 生命理工学系)  
「本館のラスボスは生き残るのか –大学統合と文化の融合–」
- (3) 川橋 星奈 (情報理工学院 情報工学系)  
「現代のテーブルトークRPGに見られる日本娯楽文化の固有特性  
–文化・ゲームジャンル間の共通事項とその発現–」
- (4) 西山 弓恵 (物質理工学院 材料系)  
「女性が将棋界でよりよく活躍するために」
- (5) 高橋 泰星 (理学院 化学系)  
「教育活動としてのボーイスカウトの独自性」
- (6) 高橋 宗茂 (理学院 地球惑星科学系)  
「道の駅には体験価値を求めるべき」
- (7) 粟倉 幸 (工学院 電気電子系)  
「韓国芸能界 大躍進の理由」
- (8) 森野 航平 (生命理工学院 生命理工学系)  
「物理化学の理論と社会に類似性はあるか –反応エネルギー図と友人-恋人-結婚相手の変遷–」

**第2部 (18:50～19:40)** ※発表はひとり5分、全員発表の後に質疑応答10分

- (9) 白井 晶都 (工学院 電気電子系)  
「芥川賞のすすめ」
- (10) 田中 愛万音 (情報理工学院 数理・計算科学系)  
「かわいいだけでは終わらない、人と動物の関係性」
- (11) 島野 泰河 (工学院 情報通信系)  
「強化学習AIを用いた人間味の考察」
- (12) 石井 杜和 (理学院 物理学系)  
「関東地方の近世農村住宅における開放性と開口部の方位特性の時代的変遷」
- (13) 鮫島 正暉 (工学院 機械系)  
「MT車は生き残れるか –水素の可能性と課題–」
- (14) 森重 遥斗 (工学院 機械系)  
「人々が持つべき『学び』の価値観とは何か」
- (15) Chan, Yu Nin (環境・社会理工学院 融合理工学系)  
“Science, Music, and their Unique Connections”